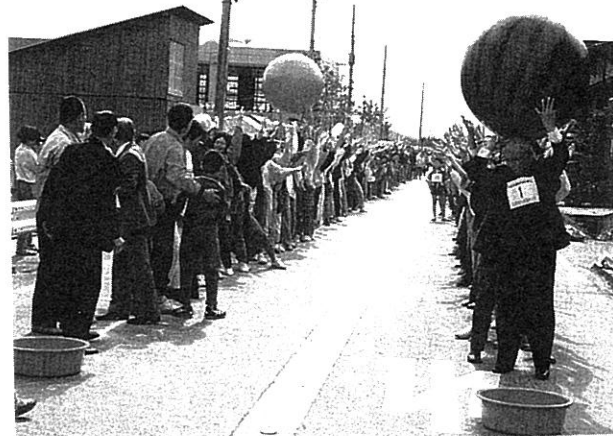




▲前夜祭のロックバンドは6チーム出演、250人がききほれる



▲スイカとトマトの2千人大玉送り
長さはなんと500mにも



▲開会式の東小学校金管楽器隊



▲錦鯉品評会、泳ぐ宝石に見入る人たち



健康展は大盛況

村民総参加



▲熱気球には300人が搭乗



▲道光マラソンは214人が参加



▲大漁なべに花を添えた雨乞太鼓



▲フィナーレは盆おどりでしめくくり

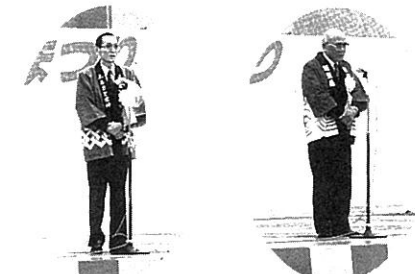


▲女の子のこつたのこつた
小学生170人が参加



▲ミニSL150mを往復、600人が乗る

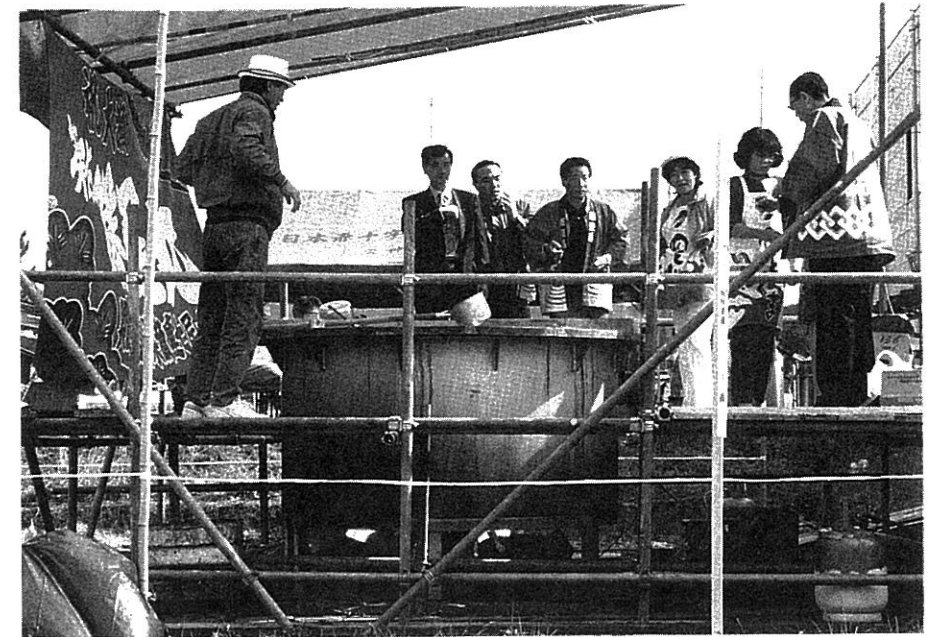
助けあい みんなでやりぬく 明るい家庭



▲あいさつする広神村長(左)と能登島町長



▲コシヒカリ新米おにぎり3,500食
もたちまち品切れ



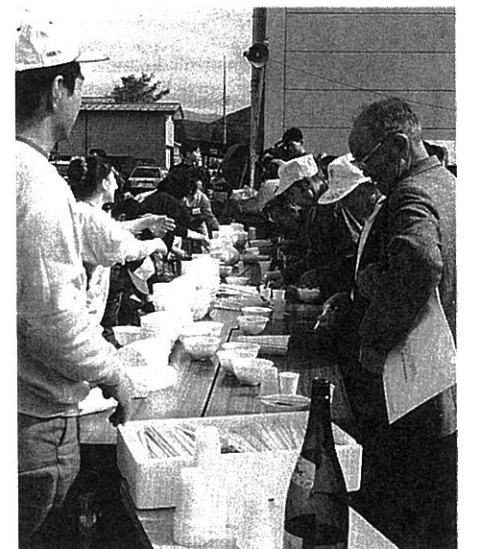
▲1万人大漁なべ、直径1.8m、深さ90cm、厚さ6mmのステンレス製、
重さ1ト、制作費140万円、1万2千人分煮られる大なべ

“ふるさと広神 ふれあいまつり”

十月二十日行われた「ふるさと広神ふれあいまつり」は、心配された天候もまずまずのイベント日和となり、会場の役場前広場には延七千人ほどの人達が村内外から集り一日中なごやかな楽しいまつりとなりました。

このまつりには、東京広神村人会から四十人余りが参加、お楽しみ抽選会の景品として自転車十台を提供していただきました。

また、前日友好提携の調印をした、石川県能登島町からも四十人余りが参加、ワタリガニ二千匹、アサリ六十きなど海の幸がドーンと運ばれ、広神村のキノコや野菜四百三十きと合わせて煮られた「一万人大漁なべ」に参加者達は舌つつみを打っていました。



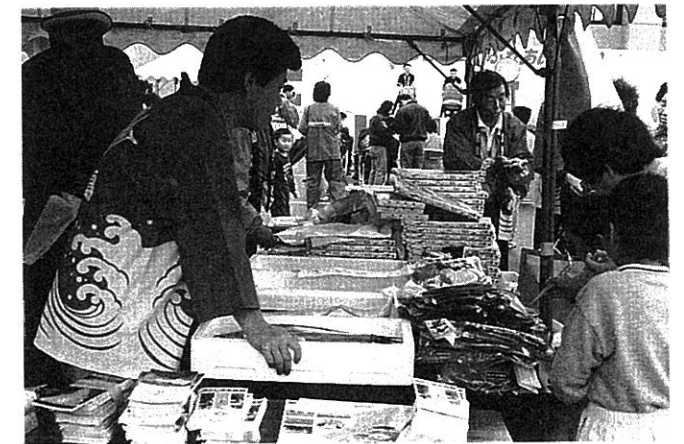
▲5千人分煮た汁を何杯もおかわりする人もいた



▲広神村の権現堂太鼓



▲能登島町の向田雨乞太鼓



▲能登島のミニ物産展、はやばや売り切れ

家庭でも やさしさ親切 大切に